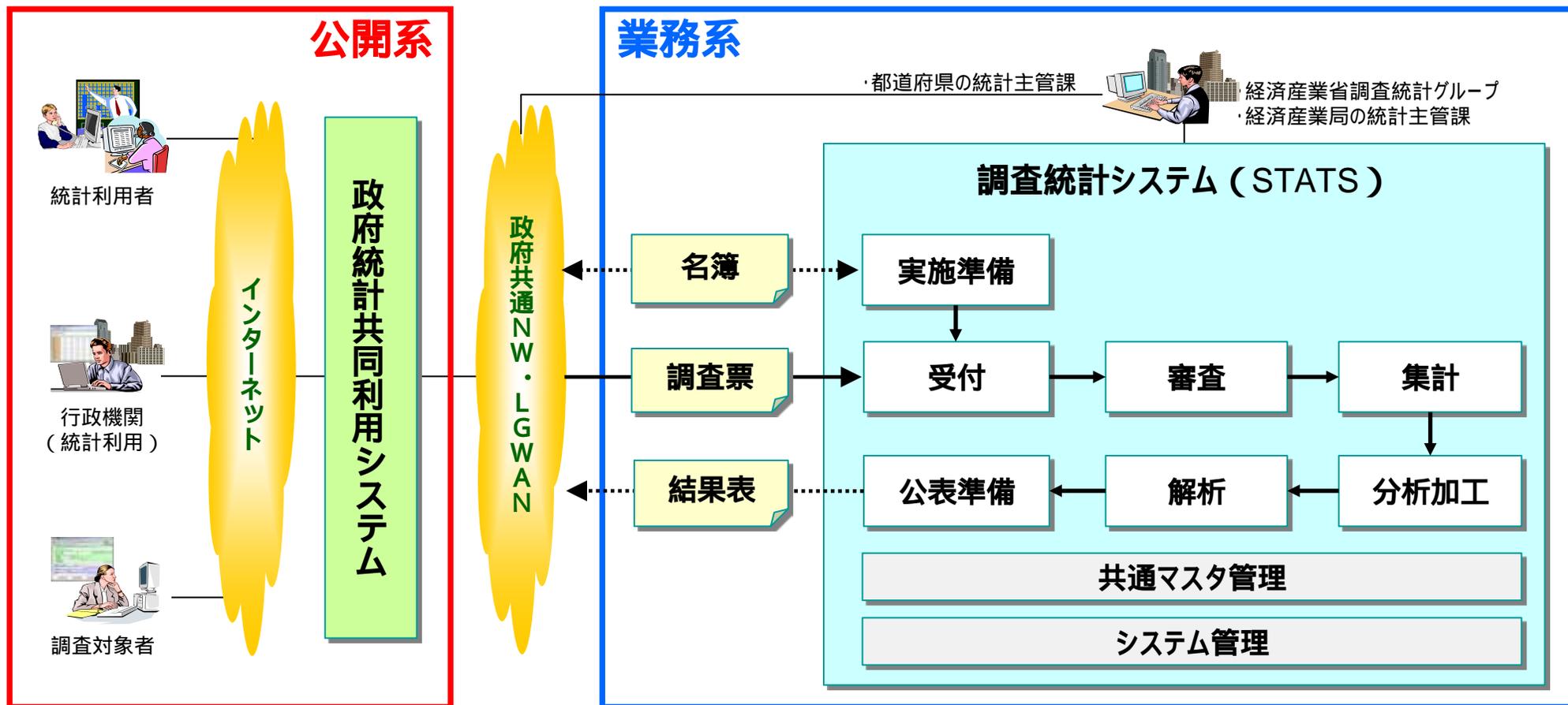


経済産業省 調査統計システムの概要

平成28年2月1日
経済産業省調査統計グループ

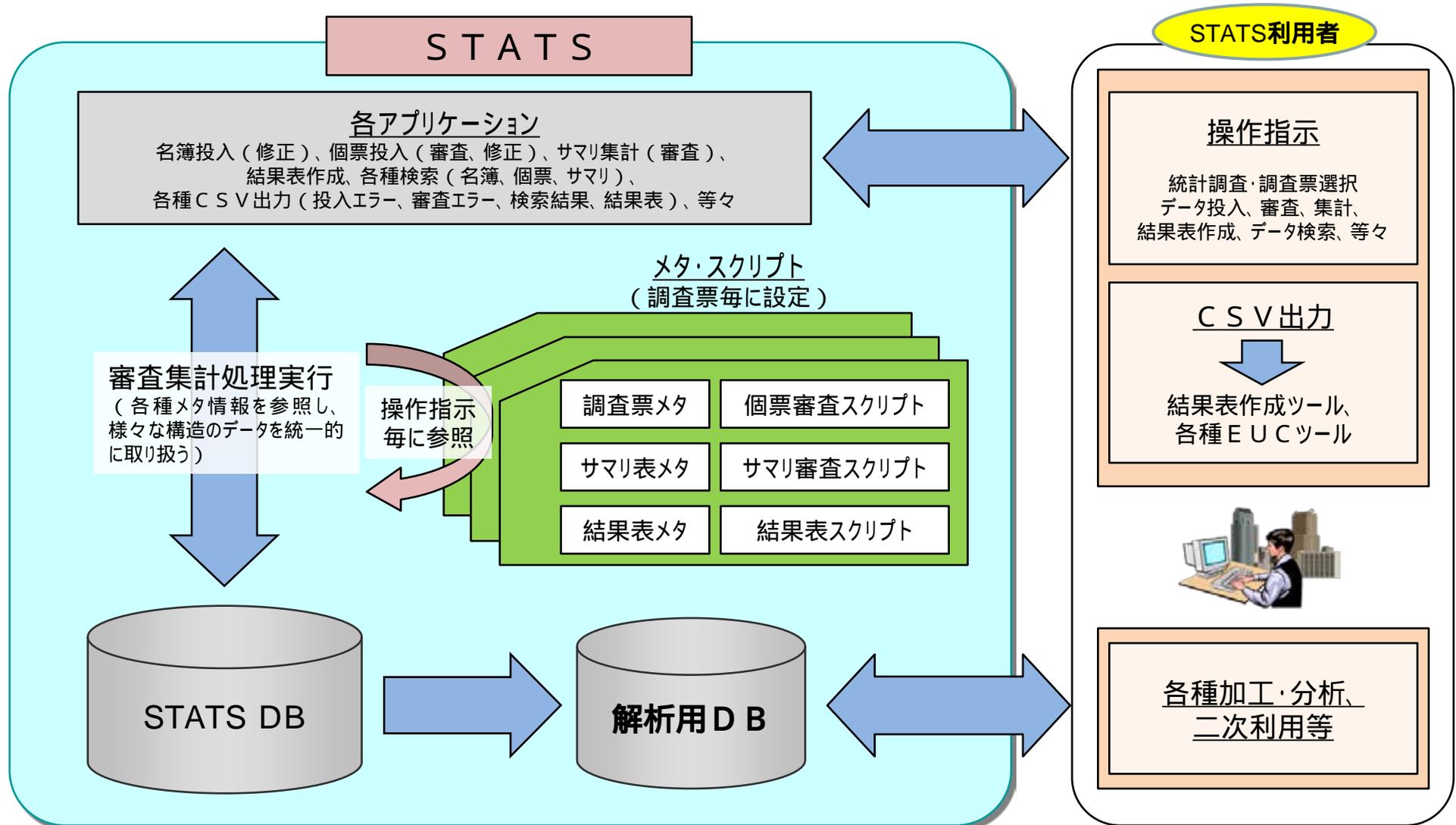
経済産業省調査統計システム（STATS）の概要

- 総務省が中心となって策定した「統計調査等業務の業務・システム最適化計画」（平成18年3月31日 CIO連絡会議決定）に基づいて、従来の個別統計毎のシステムの機能を集約・再編し、経済産業省調査統計システム（STATS）を構築、平成22年1月分調査から業務の運用を開始している。
- STATSは、経済産業省本省及び各経済産業局並びに都道府県が利用するWeb型システムであり、経済産業省調査統計グループが実施する一次・二次加工統計の統計作成・分析・公表の効率化、データ利用の高度化等を可能とするもの。
- 「オンライン調査」、「統計表公表」は政府統計共同利用システムの機能を利用している。



STATSの動作概要

STATSは各種統計調査を汎用的に審査、集計し、任意の様式で結果表作成を可能としたシステムである。



調査票毎に設定するメタ・スクリプト

STATSでは、調査票毎に「調査票メタ」、「サマリ表メタ」、「結果表メタ」及び「審査スクリプト(個票、サマリ、結果表)」を設定することで、様々な統計調査を処理する事が可能である。

| 項目 | 内容 |
|------------|--|
| 調査票メタ | 調査票（個票データ）の論理的な構造を2次元表として定義する。2次元表のセル毎に前年(前回)調査項目との接続を行う。 |
| サマリ表メタ | 個票データの積み上げであるサマリ表データの論理的な構造を定義する。集計軸として個々の名簿情報に定義されている規模コード、地域コード等を多次元で使用可能。 |
| 結果表メタ | サマリ表データの出力先である結果表の論理的な構造を定義する。まず、サマリ表データのどの値を抽出するか(サマリ表メタ)、次にどのようなレイアウトのどのセルにどのデータを格納するか(様式)を定義する。 |
| 個票審査スクリプト | 個票データに対する各種審査内容（審査定義、エラーセット、自動修正、該当名簿の規模コード更新等）をJAVA言語を用いて定義する。 |
| サマリ審査スクリプト | サマリ表データに対する審査内容（前回サマリデータとの変動比較、未到着個票推計等）及び審査に先立つ集計内容をJAVA言語を用いて定義する。 |
| 結果表スクリプト | サマリ表データに対する秘匿制御をJAVA言語を用いて定義する。 |

スクリプトにおける各調査票の共通処理は、機能毎にアプリケーションプログラム（「審査・集計処理アドオン」）として実装され、それぞれの審査スクリプトで呼び出されて実行される。